

2 平成25年度当初予算のポイント

予算編成の基本的な考え方

東日本大震災、原子力災害からの復興の本格化と小高区再生への加速化を最優先に市民が安心して生活・帰還できる環境を整えるために全力で対応していく予算

H25 一般会計当初予算 1,055 億円(対前年比 184 億円増)

東日本大震災対策

313 億円(50 億円増)

【市民生活・健康福祉・教育対策】(7.2)

震災遺児孤児・高齢者見守り・市外避難者支援、学力向上、学校図書館支援、学校耐震改修等

【災害廃棄物対策】(66.5)

【地域産業対策】(17.4)

被災農家支援、工業基盤整備、事業所再開支援、水産業施設整備等

【住宅対策】(203.3)

防災集団移転、公営住宅整備等

【災害救助費】(1.7)

援護資金貸付金、弔慰金

【緊急雇用対策】(6.1) ほか

原子力災害対策

474 億円(150 億円増)

【除染推進】(456.6)

生活圏、農地、馬事公苑、テニスコートの除染等

【環境対策】(5.9)

食品等放射能分析、地下水核種濃度測定等

【健康対策】(2.6)

個人積算線量計測定、内部被ばく検査(小中学生は集団検診)等

【教育環境対策】(6.0)

臨時小中学校開設、空調機器整備、給食検査、屋内プール運営等

【その他】(2.5)

公共施設災害復旧

29 億円(16 億円)

【農地・農業用施設】(4.5)

農地、ため池、排水路等

【公共土木施設】(18.6)

道路、橋梁、公営住宅等

【文教施設】(1.7)

小高体育センター、みちのく鹿島球場(設計)、浮舟文化会館、文化財(大悲山石仏)等

【その他】(4.1)

消防団用積載車、小型動力ポンプ、消防・防災センター等

通常事業

239 億円(前年同)

- ・人件費
- ・医療費助成、生活保護費等の扶助費
- ・公債費
- ・継続事業の投資的経費
- ・物件費
- ・補助金等

参考

H24 当初予算 239 億円